

2023年3月22日

アズビル株式会社

2023年3月9日 個人投資家向けオンライン会社説明会 ご質問への回答

Q1. 「計測と制御」ですべての企業の発展に取り組んでおられるとのことですが、主として、どのような分野、業種が強いのですか。

A1. 「計測と制御」の技術は生産の現場から、オフィスや私達の生活の場まで幅広く活用され、応用の範囲が広い技術です。そのため、脱炭素や感染症拡大の防止等の新しいニーズに応じて事業が拡大、変化します。1906年の創業から一世紀以上、社会、お客様のニーズの変化に合わせて事業を変化させてまいりました。現在、当社グループの技術、サービス力を活かし、強みを発揮できる分野としてBA（ビルディングオートメーション）、AA（アドバンスオートメーション）、LA（ライフオートメーション）の3つの領域で事業を展開し、それぞれに強みを持つ領域を持っています。例えばBA事業では、数万㎡、十数階以上の大型建物の空調制御システムで国内において大きな市場シェア（※当社調べ）を持っています。また、AA事業では、半導体製造関連から石油化学・プラントや食品・自動車等にいたるまで、幅広いお客様に製品、サービスをご利用いただいております。

Q2. アズビルにしかない強みはなんですか。

A2. 様々なオートメーションメーカーがありますが、azbilグループのオートメーション事業の一つの特徴は、単に製品・システムを販売するだけではなく、新しく建物を建築する際や工場・プラントで生産ラインを立ち上げる時に、お客様のご要望を伺い、最適なシステムを設計、製品・システムのエンジニアリングも含めて提供し、その後はメンテナンスサービス等の形で運用を支援、機器・システムの更新まで一貫して行うということです。

当社グループの強みは、その際に、最新の製品・システムのご提供を含めて、お客様の建物・生産設備等のライフサイクルを通じ、様々なステージに合わせたソリューションを継続的にご提供できることです。

例えば、製品・システムのメンテナンスサービスや更新時においては、機器を新しくするだけではなく、長年、様々な現場で蓄積したデータ、専門的な技術・知識を活かして省エネや運用コスト削減等をご提案、施工、運用までを行い、現場で価値を創造しています。

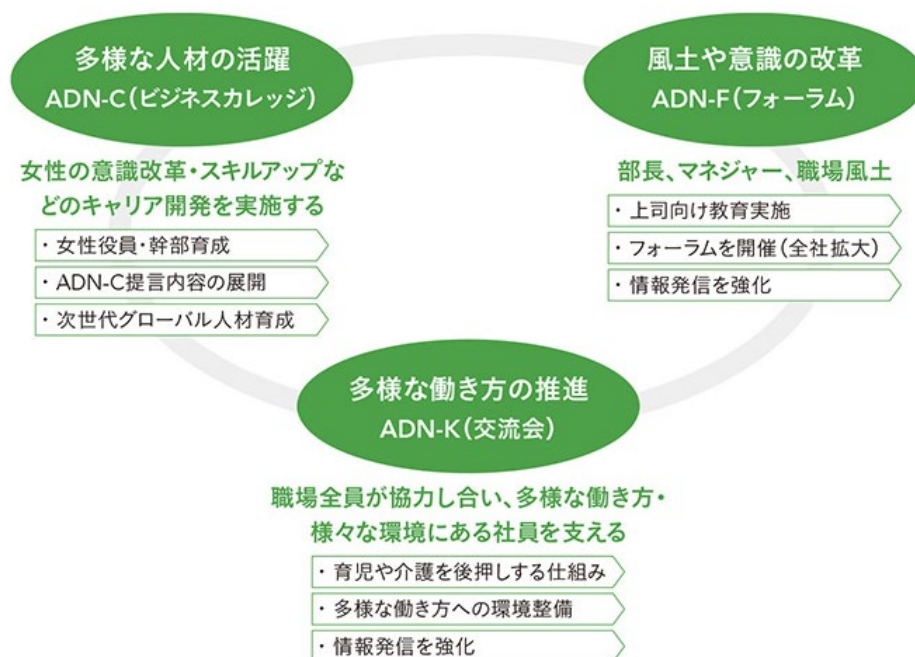
Q3. 為替の影響があれば教えてください。

A3. 為替の業績への影響は、開示資料にもありますように、2022年度の第3四半期の実績では、売上高 1,910 億円のうち+41 億円、営業利益 159 億円のうち+4 億円となっております。全体に占める割合は大きくありませんが、為替が大きく変動する中、一定の影響が出ております。

Q4. アズビルの女性幹部、および女性役員の登用の割合を教えてください。

A4. 当社における女性管理職比率は 5.8%、取締役会における女性比率は 16.7%です（2021 年度実績）。アズビルは人的資本の価値向上に向け、働き方改革とダイバーシティ推進の両輪で「健康経営」を進めています。多様なバックグラウンドをもつ社員一人ひとりが互いに個性を尊重し、能力を活かして成長していくことが企業成長の原動力であると考えており、2017 年度からは「アズビル・ダイバーシティ・ネットワーク（略称：ADN）」を発足させ、様々な施策に取り組んでいます。（下図参照）引続き管理職における女性比率の向上等に取り組んでまいります。

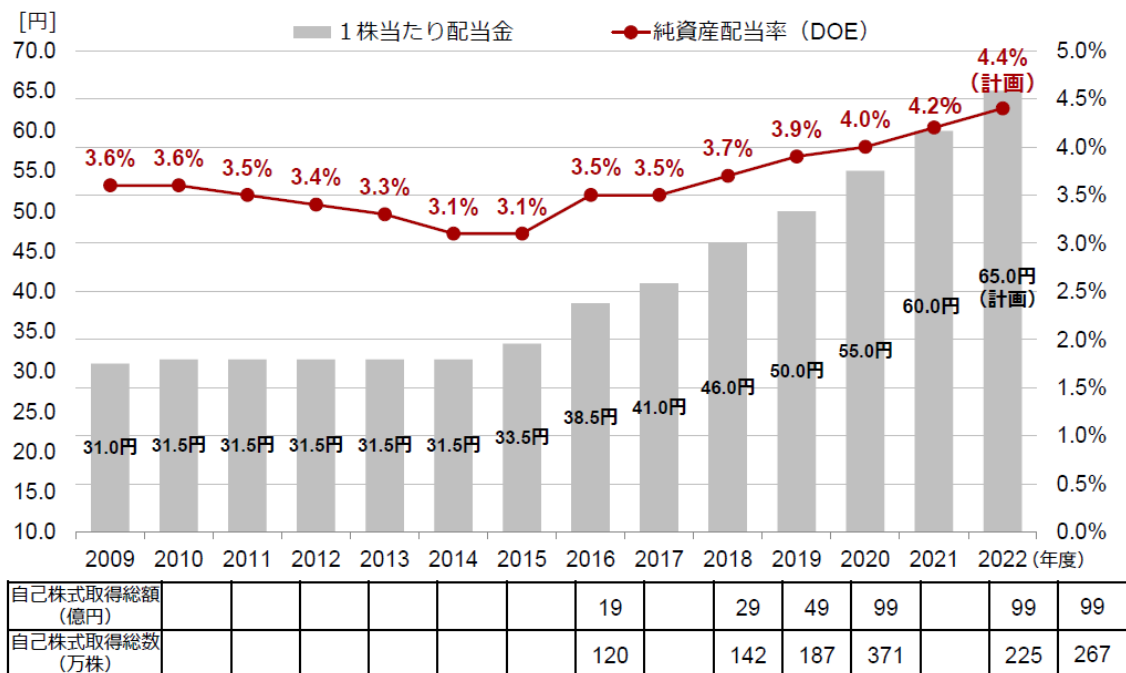
【アズビル・ダイバーシティ・ネットワーク（ADN）施策】



Q5. 株主優待券の導入についての考えを教えてください。

A5. 当社では株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置付けております。株主還元は配当を中心に、自己株式取得も機動的に組み合わせながら株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。このため現時点で株主優待の導入予定はございませんが、引き続き株主還元の充実に取り組んでまいります。

【株主還元の推移】



※当社は2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
 配当並びに自己株式取得/消却の数値は、株式分割の影響を考慮した値にて表示しています。

A6. 特別な社員教育をされているのでしょうか。

A6. azbilグループは、基本方針のひとつに“体質強化を継続的に実施できる「学習する企業体」を目指す”を掲げ、人材の育成に取り組んでいます。現在は、リスキリングという側面からDXに関する教育にも注力しています。また、azbilグループ独自のSDGs目標の一つに「学習する企業体」を掲げ、グローバルに活躍する人材の継続的育成、従業員の成長実感の醸成、ステークホルダーとともに学ぶ機会の拡大などを進めています。これらには、人材開発を担う社内専門組織アズビル・アカデミーが中心となり、様々な教育およびそのプラットフォームの提供、自己啓発の支援などを行っています。また、2022年度には新たなLMS (Learning Management System : 学習管理システム) の導入により、全世界の従業員一人ひとりが場所や時間を問わず自ら学ぶことが出来る環境を整え、自律的な学びの推進を行っています。